

大学院共通カリキュラム

研究科の枠を超えた柔軟かつ学際的なカリキュラムを設計するため、各研究科を横断して「研究科間共通科目」が設置されています。この科目は、原則として、博士前期課程、修士課程および専門職学位課程に在籍する大学院学生を対象としますが、研究科が認めた場合には、博士後期課程に在籍する大学院学生も履修することが出来ます。この大学院共通カリキュラムの担当教員は、当該科目のスペシャリストである特任教員を中心に組織されています。

■ 研究科間共通科目（博士前期課程）

博士前期課程・修士課程・専門職学位課程 研究科間共通科目		博士前期課程・修士課程・専門職学位課程 研究科間共通科目	
授業科目〈国際系科目群〉	単位数	授業科目〈国際系科目群〉	単位数
学術英語コミュニケーション（初級・中級・上級）	2	学際系総合研究A「留学経験と近代東アジア「学知圏」の形成	2
英文学術論文研究方法論（初級・中級・上級・研究方法論）	2	学際系総合研究B テーマ「行政組織と会計検査・監査」	2
国際系総合研究A「Project based Management control system for Japanese companies」	2	学際系総合研究C テーマ「農業の工業的アプローチ」	2
国際系総合研究B テーマ「環境の生体影響」	2	学際系総合研究D テーマ	2
国際系総合研究C	2		
国際系総合研究D	2		

※ 研究科間共通科目担当専任スタッフのほか、ゲスト講師を多数任用し、講座内容の充実を図っています。
※ 各総合研究のテーマは2017年度実施予定のものです。

■ 担当教員

許 佑旭 HSU Yu-hsu	Ph.D. 特任教員	研究分野 経営学
--------------------	---------------	-------------




【最終学歴】英国ウォーリック・ビジネススクール 【担当授業科目】英文学術論文研究方法論 / TRANSNATIONAL MANAGEMENT A・B / INTERNATIONAL FAMILY BUSINESS A・B 【研究テーマ】多国籍企業 / 同族企業 / 国際経営戦略 【主な著書・論文】"A Contemporary Country-of-Origin Framework: Conceptualising, Evaluating and Measuring", *Meiji Business Review*, 61(2), 2014, pp. 119-144. / "Chinese Businesses in the Context of Globalisation", *Journal of International Management*, 14(4), 2008, pp. 391-393.

河 庚希 HA Kyung Hee	Ph.D. 特任講師	研究分野 Race and Ethnicity, Immigration Studies
----------------------	---------------	---



【最終学歴】University of California, San Diego 【担当授業科目】学術英語コミュニケーション / 英文学術論文研究方法論 【研究テーマ】Contemporary Japanese Society, Asian/American Studies, Social Movements, Korean Diaspora Studies 【主な著書・論文】"Zainichi Koreans [Koreans from Japan] in the U.S.: Negotiating Multiple Displacement and Statelessness." *PAN JAPAN: The International Journal of the Japanese Diaspora* 11, no. 1 & 2 (2015) : 41-67. / "Zainichi Koreans and Culture." *Who Owns Culture? : Beyond Nation- State* Graduate School of Humanities, Meiji University (2012) : 21-31.

中井 真木 NAKAI Maki	博士(学術) 特任講師	研究分野 日本史・比較文化
---------------------	----------------	------------------



【最終学歴】東京大学大学院 【担当授業科目】学術英語コミュニケーション / 英文学術論文研究方法論 【研究テーマ】History of Clothing, Heian and Kamakura Japan, Translation of Premodern Japanese Sources, Historiographical Usage of Literary and Visual Texts 【主な著書・論文】"直衣の定義の変遷と語義説: 宿直の衣から常の服へ" *Waseda Global Forum* 11 (2015): 137-159. / "Courtier Robes and Warrior Robes: Representation of Identity in Early Medieval Japan." *UTCP Bulletin* 8 (2007): 54-65. / *Multilingual Version of Pictopedia of Everyday Life in Medieval Japan Compiled from Picture Scrolls*, The Kanagawa University 21st Century COE Program Center, 2007- (共訳).

■ 各研究科特別講義実施一覧（2016年度）

本大学院では、通常の授業科目のほか、各研究科において年数回の「特別講義」を実施しています。この特別講義では、内外から講師を招き、各研究科にふさわしいテーマに沿って、時事的、学際的な講演を行っています。これにより、内外の事情を知り、現状を分析し、大学院学生の研究に資することが出来ます。この特別講義は他研究科生も聴講可能となっています。ここにはその一部を掲載しています。

研究科	回数	テーマ	講師	実施日
法	1	自由意思論の現在	川口 浩一（関西大学法科大学院 教授）	2016.10.15
	2	ニコラス・ルーマンの法システム論	長谷川 貴陽史（首都大学東京都市教養学部 教授）	2017. 3. 24
商	1	CHANCE・CHALLENGE・CHANGE ―プラスチックの営業―	戸上 宗久（プラスチックみらい研究会 事務局長）	2016.10.14
	2	野村證券のインサイダー情報漏洩事件について	徳住 堅治（旬報法律事務所 弁護士）	2016.12.23
政	1	インターネットと政治参加・社会参加	海後 宗男（筑波大学人文社会系 国際日本研究専攻 准教授）	2016.10.13
	2	世論調査の時代	西平 重喜（統計数理研究所 名誉所員）	2016.11.30
	3	日本の社会保障政策を考える	田多 英範（流通経済大学 名誉教授）	2017. 1. 19
営	1	"Ethical Issues in Global Business"	Eweje Remmy Gabriel (School of Management, Massey University 准教授)	2016. 5. 16
	2	応用経営史からみた電力・ガス自由化	橋川 武郎 (東京理科大学大学院イノベーション研究科 教授)	2016. 6. 27
	3	結ぶ組織の研究 ―言語システムとしての組織の観点から―	宇田川 元一 (埼玉大学大学院人文社会学研究科 准教授)	2016. 6. 30
文	1	「グリム兄弟はなぜ伝承文学や神話そして言語学に向かったのか」 ―その歴史的背景を考える―	橋本 孝（宇都宮大学 名誉教授）	2016.12. 7
	2	福祉と開発の人的基礎 ―森有正のレゾナンス―	岡田 徹	2017. 3. 18
理	1	Machine learning and knowledge-based systems between human intelligence and machine intelligence	Liya Ding (Institute of System Science, National University of Singapore, Member (教授相当))	2016.10. 7
	2	磁石にくっつく超伝導体 ―強磁性超伝導体の不思議―	石田 憲二（京大大学院理学研究科 教授）	2016.11. 4
	3	大学院教育と数学教員の仕事のつながり	矢田部 篤雄（学校法人茨城 茨城高等学校・茨城中学校 教諭）	2016.12. 1
農	1	環境中の化学物質と増加する現代病との関連 ―アレルギー疾患、生活習慣病について―	柳澤 利枝（国立研究開発法人国立環境研究所 環境リスク・ 健康研究センター 病態分子解析研究室）	2016. 6. 29
	2	腸内細菌叢と宿主の健康・疾病	成島 聖子（独立行政法人理化学研究所 研究員、 日本獣医生命科学大学 客員教授）	2016.11.15
	3	概日時計の根本原理から紐解く疾患理解	八木田 和弘（京都府立医科大学生理学教室統合生理学部門 教授）	2017. 2. 3
情コミ	1	History and Nature of the Field of Communication	James W. Dearing (ミシガン州立大学コミュニケーション学部 専任教授・学部長)	2016. 5. 31
	2	思想家としての海保青楼 ―ネットワーク分析からの接近	Kinsiki, Michael (ゲーテ大学フランクフルト・アム・マイン日本学部 教授)	2016. 9. 23
	3	西欧における竹内好の「近代とは何か」を読む	SEIFERT, Wolfgang (ハイデルベルク大学 名誉教授)	2016.10.17
教養 デザイン	1	音楽は旅をする～「移動音楽論」からみた日本の近代化 西洋音楽の受容と翻案をストーリーの視点から振り返る	大熊 ワタル（音楽ライター、クラリネット奏者）	2016. 5. 30
	2	鍵盤ハーモニカの奏法革命 ―文化と音楽の考現学的考察	南川 朱生（鍵盤ハーモニカ研究者・演奏家）	2016.10.10
	3	日本人とは何か？	中沢 新一 (明治大学研究・知財戦略機構 特任教授、野生の科学研究所 所長)	2016.12.10
先端	1	現象の数理モデリング	長山 雅晴（北海道大学 電子科学研究所 教授）	2017. 1. 13
国日	1	韓国と日本の移民統合政策 ―地方自治体と国の関係を中心に―	梁 起豪（韓国 聖公会大学 教授、明治大学国際日本学部 招聘教授）	2016. 6. 30
	2	ハイブリッド格闘ファンタジーの誕生 マンガ×バンド・デシネ＝「ラストマン」	Bastien VIVES（フランス バンド・デシネ作家）	2016.10.21
	3	日本の商業アニメーションの特徴とガンダムの位置づけ	内田 健二（株式会社サンライズ 特別顧問）	2016.12.10
GG	1			2016.10. 5
	2	Research Method for Dissertation	林 安希子（専門職大学院ガバナンス研究科 教育補助講師）	2016.10.12
	3			2016.10.19